

各支部の28年度事業計画

－ 支部独自の保険者機能を発揮するための取組み例等 －

取組み例

ジェネリック医薬品の使用促進

- データ分析に基づいた高血圧治療者への更なるジェネリック医薬品使用促進(宮城支部)【AP目標 Ⅲ(1)】
 - ・高血圧疾患患者のジェネリック医薬品にかかる分析をし、分析結果を掲載したリーフレット等を送付するとともに、自治体、医療関係団体等へ分析結果を公表し、意見発信力の強化につなげる。
- 協定を活かした取組み【AP目標 Ⅲ(1)】
 - ・薬剤師会との協定を活かしてジェネリックセミナーの開催などの周知啓発活動を行う。(愛知支部)
 - ・厚生局・県等の行政機関や医療関係団体等と協力連携し、医療機関等への働きかけやセミナー等を開催して地域における積極的啓発活動を行う。(秋田支部)
- ジェネリック医薬品推奨ステッカー等作成による使用促進体制の強化(北海道支部)【AP目標 Ⅲ(1)】
 - ・後発医薬品調剤体制加算薬局に対して、ジェネリック医薬品推奨ステッカー等を配布、貼付等による使用促進体制の促進を図る。

その他の保険者機能を発揮するための取組み(医療費適正化、調査研究等)

- 保険料適正化プロジェクトチームによる保険料適正化の取組み(広島支部)【AP目標 Ⅱ、Ⅲ】
 - ・保険料適正化プロジェクトチームにより、ジェネリック医薬品使用促進、糖尿病重症化予防など保険料適正化に有効な業務の進捗を的確に管理し、支部保険料の引下げを目指す。
- 就労世代における健康状態・健康意識調査研究の実施(愛知支部)【AP目標 Ⅱ(6)】
 - ・県歯科医師会と共同で、無料歯科健診とアンケートを実施し、成人期の口腔状況における調査のほか、健康状態・健康意識調査も行う。
- ビッグデータを活用した支部の特徴と対策(岩手支部)【AP目標 Ⅱ(2)、基盤強化(2)】
 - ・岩手県の脳卒中死亡率が全国ワーストであることを踏まえ、協会では保有しているデータのほか、国保など国内で公表されている他のデータにより分析を行い、脳卒中对策を中心に活かしていく。

■ 歯科医師会との共同分析(山口支部)【AP目標 II(2)(6)】

・事業所と連携して歯科健診を実施し、歯科健診データと健診データ等により口腔状態と生活習慣病等の相関性を包括的連携協定を締結した県歯科医師会と共同で分析する。

■ 健康保険制度・事業等の周知にかかる取組強化(北海道支部)【AP目標 基盤強化(3)】

・健康増進月間を設定し、マスコミと連携した各種健康づくり、イベントの企画、参画、出展、広報展開等による総合的な取組みを行う。

■ 若年者向け広報(鹿児島支部)【AP目標 基盤強化(3)】

・学校等に出向き健康保険についての授業を行い健康保険制度周知及び適正受診への意識の醸成を図る。
・県全体の高等学校卒業生へ配布される記念新聞に記事を掲載し健康保険制度について周知広報を図る。

■ 特定健診対象年齢到達前の働きかけ(福井支部)【AP目標 II(3)】

・健康チェック及び健康メニュー試食イベントの実施による健診受診の意識付けを行う。

■ 中小企業合同スポーツレクリエーションの開催(広島支部)【AP目標 II(4)】

・中小企業複数社と運動会(2回程度)を開催し、加入者の健康増進・事業主とのコラボヘルス強化を図る。

■ 柔道整復施術療養費の照会業務の強化(全支部)【AP目標 III(2)】

・多部位・頻回等の申請について加入者に対する文書照会を強化するとともに、必要に応じて施術者に照会する。
・柔道整復施術受診についての正しい知識を普及させるための広報を行い、適正受診の促進を図る。
・不正が疑われるものは地方厚生局へ情報提供を行う。 等